

1. 目的

本アプリは、2に掲げる消防用設備等が設置されている施設等の関係者の方々が、御自身で消防用設備等の点検と報告書の作成を行うことを支援するためのツールの一つとして提供するもの。

2. 点検できる消防用設備等



・**消火器(粉末消火器、強化液消火器等)**
初期火災を消火することを目的とした設備。
(アプリで点検可能な設備は、内部及び機能の点検が不要のもの(加圧式:製造年から3年以内、蓄圧式:製造年から5年以内)に限る。)

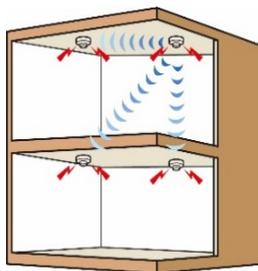


・**非常警報器具**
建物内の人々に火災が発生した旨等を伝達することを目的とした設備。



・誘導標識

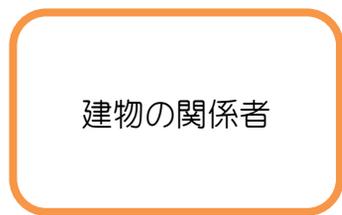
火災が発生した際に、避難口や避難すべき方向に適切に誘導することを目的とした設備
(アプリで点検可能な設備は、配線等の点検が不要のもの(蓄光式のもの及び電気エネルギーにより光を発するものを除く)に限る。)



・**特定小規模施設用 自動火災報知設備**
建物内に設置された感知器により、早期に火災を感知し、建物内の人々に火災が発生した旨を自動で報知することを目的とした設備。
(アプリで点検可能な設備は、受信機又は中継器が設置されておらず、かつ自動試験機能を有するものに限る。)

3. 主な機能と利用の流れ

- ① 建物の名称、所在地、用途、消防用設備等の基礎情報等を入力して初期登録する。
- ② 初期登録された情報に基づいて、半年ごとに点検を実施するよう、通知を受ける。
- ③ アプリ上の点検実施画面の案内に従って、各消防用設備等の不良な状態を例示したイラストなどを閲覧しながら、点検基準に適合しているかどうかを選択する。
(点検の結果不良箇所があれば、取替え等の措置を案内。)
- ④ アプリ上で、入力された内容を点検結果報告書(消防法令に定められた様式)に反映してPDFファイルとして出力する。



- ①ダウンロード・建物情報等登録
- ②点検時期お知らせ機能
- ③画面に従って点検を実施
- ④法令様式に反映し、PDF出力



< 操作画面の例 >



メニュー画面



情報登録画面



点検実施画面



PDF保存画面